

2017年6月 外来医師一覧表

		月	火	水	木	金
外科	午前	田辺 大朗		田辺 大朗	甲斐 幹男	
整形外科	午前	西口 雅彦	西口 雅彦		西口 雅彦	
	午後		西口 雅彦			
脳神経外科	午前			藤岡 正導		藤岡 正導
	午後			藤岡 正導		
心臓血管外科	午後	済生会熊本病院医師 (第2、4週)				
循環器内科	午前	庄野 弘幸	庄野 弘幸		庄野 弘幸	
	午後	庄野 弘幸	庄野 弘幸		庄野 弘幸	
呼吸器内科	午前	済生会熊本病院医師 (第2、4週)				
消化器内科	午前		藤本 貴久	築村 哲人	築村 哲人	藤本 貴久
	午後				築村 哲人	
肝臓外来	午前			熊大病院医師 (川崎 剛)		
泌尿器科	午前	済生会熊本病院医師 (第1、3週)		済生会熊本病院医師		
腎臓病外来	午前				町田 健治	
	午後			町田 健治		
糖尿病外来	午前					済生会熊本病院医師 星乃(第2週)、松尾(第5週)
乳腺外来	午前	田辺 大朗		田辺 大朗		
禁煙外来	午後				藤岡 正導	
動脈硬化外来	午後		藤岡 正導			
脳ドック	午後			藤岡 正導		

- 受付時間 / 午前 8:30~11:00 (土・日・祝日・年末年始を除く) ※休診日がございますので、事前にお問い合わせください。
- 診療案内 / TEL.0964-53-1656 FAX.0964-53-1657 ※お電話での予約や予約変更は平日14:00~17:00に承っております。

済生会みすみ病院健診センター 各種健康診断のご案内

当院では各種健康診断・人間ドックを実施しております。(要予約)

- 日帰り人間ドック
- 脳ドック
- 法定健診(労働安全衛生法に基づいた健診)
- 乳がんドック
- 大腸ドック
- 宇城市、上天草市国保特定健診
- 宇城市、上天草市町村職員共済組合健診
- 宇城市、上天草市後期高齢者健診
- 私学事業団人間ドック
- 協会けんぽ生活習慣病予防健診、被扶養者特定健診
- その他健康保険組合契約健診

【お問い合わせ先】健診センター直通
TEL.0964-53-1617 / FAX.0964-53-1651

検査内容・実施日・料金は異なりますので、
遠慮なくお問い合わせください。
※お電話でのご予約は平日14:00~16:00に承っております。

理念と基本方針

医療・福祉を通じて安心して生活できる地域づくりに貢献します。

「地域医療を支援します」「救急医療を実践します」「健康的な生活を支援します」

咲かせよう いのち 世代を越えて いつまでも。



44 Take Free.
2017.06



藤岡院長
退任サプライズ
茶話会

院長交代挨拶

リハビリテーションだより「心が動けば、体が動く」

病院だより / 部署紹介 [医療秘書]

外来医師一覧 / 健康診断のご案内

[特集] 天草パールラインマラソン



院長退任のご挨拶

3月31日をもって済生みすみ病院の病院長を定年退職致しました。

8年前、みすみ病院に赴任して最初に気づいたのは地域住民の健康意識の低さでした。脳卒中患者さんの多くが高度の高血圧や糖尿病を放置されていたことが原因でしたが、その根っこには「病院を受診しながらない」地域風土があることが分かりました。そこで「待つ医療から出向く医療」をキーワードに医師をはじめとした各職種スタッフによる「出前健康講座」に力を入れました。出前回数は年に80回近くに達しましたが、それと平行して病院を身近に感じてもらう目的で「健康フェスタ」を開催しました。

昨年1年間に救急外来を5,000人近い患者さんが昼夜を問わず受診されました。また、地域の救急隊の協力もあり、昨年も800台前後の救急車を受け入れることができ、当院の一つの柱である地域の救急医療にもある程度貢献できたのではないかと考えております。リハビリにも力を入れ、開設時4人だったリハビリ療法士を40人に増員し、広大な敷地を整備してリハビリ庭園も造設しました。さらに昨年は通所リハビリ・コンパスも開設しました。

過去8年の間、上に述べた他にも様々な取り組みを行ってきましたが、大きな問題もなく院長職を全うできたのは病院職員の献身的な努力はもちろんのことですが、近隣の診療所や介護施設関係者のみなさん、それから行政や救急隊の方々の並々ならぬ援助があったからに他なりません。

これからは庄野弘幸院長のもと、全員一丸となって地域医療にさらに貢献してゆくものと思いますが、これからの取り組みも私たちの力だけでは到底達成は困難で地域のみなさんのバックアップが不可欠です。私も引き続き脳外科診療は手伝ってゆくつもりですが、皆さんにおかれましてもこれまで以上のご指導、ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆さんのご健康とご健勝をお祈りして、退任の挨拶とさせていただきます。



名誉院長
藤岡 正導

4月より済生会みすみ病院の院長に就任しました庄野弘幸です。

「医療・福祉を通じて、安心して生活できる地域作りに貢献します」が済生会みすみ病院の理念です。開院から14年、病院スタッフみんなで地域に根付いた病院作りに励んで参りました。地域の皆様からは、「いざというときの済生会みすみ病院」として認めていただけるようになってきていると思います。

この地域では予想を超えるスピードで少子高齢化、人口減少が進んでいます。この環境の変化に応じて、みすみ病院では、一般病床を回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病床へ変更しました。また、これまでの訪問リハビリに加えて、2016年には通所リハビリを開設しました。利用者の皆様は、毎日、笑顔で活気にあふれたリハビリ生活を送っておられます。

他にも、地域の皆様の健康的な生活を支援するため、公民館などに出席して「出前健康講座」を行っています。こちらは医師だけでなく、看護師、薬剤師、リハビリ、管理栄養士、検査技師、放射線技師、事務員など数多くのスタッフに講師を担当してもらっています。スタッフもやりがいを感じながら、出前講座に積極的に参加してくれています。

地域の住民の方が、高齢になっても住み慣れた土地で元気に生活ができるようにと、日々の診療を行っています。

地域から求められている「救急医療」にも対応しています。救急車の受け入れは年間800台を超えています。ただし、他の地域と同様、慢性的な医師不足が続いており、患者さんには申し訳ありませんが、熊本市内の病院に急性期治療をお願いすることもあります。できるだけ地元での治療を希望される方も多くおられますので、私達は「多職種協働」を掲げて、医師だけでなく、病院のスタッフ全員で診療に当たるようにしています。

また、これからも地域の皆様と積極的に交流を図りながら、地域とともに生き続ける病院を目指していきたいと考えています。

今後も引き続き済生会みすみ病院を宜しくお願いします。

院長就任のご挨拶



院長
庄野 弘幸



リハビリテーションだより
心が動けば、体が動く。



わたしが「笹原です！」

私たち訪問リハビリスタッフは、ご本人・ご家族・医師・ケアマネージャー等としっかりと連携をし、在宅生活を送る上での目標を支援していきます。生きがいづくりを援助し意欲と活動性の向上を図ります。「心が動けば、体が動く！」をモットーに、元気なスタッフがおうちへ伺います。ご本人の「～に行きたい」「～したい」の意思を尊重し、どうすればその願いがかなうか、一緒に考えます。

老人会に行きたい／

Aさんは病気になり、老人会への参加を諦めていました。訪問リハビリにて、まずは筋力訓練や歩行訓練等でベースアップを図り、徐々に体力がついてきました。その後、実際に老人会の開催される公民館へ私たちスタッフと外出をし、その場所での歩行訓練や階段昇降などを練習しました。

また、Aさんは言葉の出にくさもあり、言語聴覚士の訪問リハビリを行い、会話・書字訓練やカラオケの練習を通して、言語機能の改善がみられています。さらには家族や地域の方等の介助者へ介助方法のアドバイスも行い、最終的には老人会へ2年ぶりに参加をすることができました。生き生きとした生活を取り戻すには趣味や役割の獲得が必要です。



自宅のお風呂に入りたい／

生活の基盤となる身辺動作の練習も行っています。実際に自宅のお風呂やトイレで楽に動作ができるように練習や介助方法のアドバイスをしています。安心して身辺動作が行えることで生活の質の向上を図ることができます。



歩いて元気な姿を家族に見せたい／

病院でリハビリを行い、退院したBさん。退院時は車椅子を使用していましたが、継続した歩行練習が必要とのことで訪問リハビリを開始しました。自宅内での歩行練習を行い、家族さんにも介助方法の指導も行っています。今後は歩いて元気な姿をみんなに見せたいとリハビリに取り組まれています。

このように病院から退院したあとも継続したリハビリをすることで、身体機能の向上を図ることができます。



家族と一緒に過ごしたい／

ご本人の状態に合わせた福祉用具の選定、ご家族への介助方法のアドバイス、身体的・精神的な不安への援助を行います。

介護負担を軽減することは在宅で介護しながら、生活を長く続けていく上で大事なことです。

Cさんは自分で体を動かすことが困難な状態です。しかし、リフトやリクライニング車椅子など福祉用具をレンタルすることで奥様の介助のもと、車椅子に座ってご家族と一緒に過ごすことができています。そのほかにも、「どのような押し車で歩いたら安全かな」や「どこに手すりがあったらいいのかな」等さまざまな相談に対してもアドバイスをしています。



私たちは、訪問リハビリを始める際、ご本人やご家族としっかりと面談をします。そこでご本人の「できること」や「したいこと」をうかがい、訪問リハビリの目標を設定していきます。その目標に向けて、ご本人に合った運動や活動をリハビリとして行います。目標や目的を持った活動はご本人の意欲も向上し、自然と体が動いてくると思います。

ご自宅での生活に不安や戸惑いはありませんか？ 済生会みすみ病院では、ご自宅で安全かつ生きがいや楽しみを持って生き生きとした生活ができるように訪問リハビリテーションサービスを提供しております。ご相談等ありましたら、訪問リハビリスタッフまでお問い合わせください。

対象者

- ① 本人または家族より在宅における日常生活・社会生活上の具体的な不安がある方
- ② 家族または地域スタッフ(介護支援専門員・ヘルパー等)より介護方法の指導や福祉用具の使用方法などの指導依頼があった方
- ③ 退院時、院内の日常生活活動に障害がある方
- ④ 在宅での閉じこもり、寝たきりが予測される(心身機能の低下・日常生活の低下が予測される)方
- ⑤ 家屋改修を施行した(またその必要がある)方
- ⑥ その他医師やスタッフが訪問リハビリの必要性があると判断された方

リハビリ介入の時間

月曜日～土曜日(午前もしくは午後)
 時間／9:00～17:00

頻度
週2回程度
 (必要に応じて)

1回のリハビリ
 提供時間
40分程度

利用料金

介護保険にて利用者の自己負担は**1割**と定められています。

1回の利用料金の目安
600～800円程度

※介護等級や開始時期によって若干の差があります





天草パールラインマラソン

企画総務室／高橋 直輝

天草パールラインマラソン大会は今年で45回目となる歴史ある大会です。「遅いあなたが主役です」のキャッチフレーズであるように、参加者はベビーカーランナーから80歳代までとても幅広く、上天草市民はもちろん県内外のランナーに親しまれる健康マラソンの草分け的な大会です。

今年も熊本・みすみ病院のスタッフが「救護班」チームを結成し、大会のバックアップを行いました。総勢30名のスタッフの協力のもと、①モービルCCU、②救護ランナー(4.2km、10km、ハーフ)、③AEDバイク・自転車の3つに分かれ救護を行い

ました。幸いにも今年は1人の怪我人も無く終わりましたが、直近に開催された熊本城マラソンや東京マラソンに参加されたランナーも多く、万全のコンディションでないランナーも多くいらっしゃいました。救護ランナーとして参加すると地域の方々からの応援や参加ランナーと話をしながら様々な方とふれ合えるアットホームな大会です。

今回脚を引きずりながら走るランナーに当院の救護ランナーが声かけをしながらゴールまで付き添う姿が印象的でした。

部署紹介★

医療秘書



知識を身につけ、個々のレベルアップを目指しています。

医療秘書は、2008年に医師不足への対策として立ち上げられ、現在5名のスタッフで構成されています。医師事務作業補助として、電子カルテの入力補助や文書作成(診断書、診療情報提供書等)、臨床研究サポート(学会発表・論文作成のためのデータ分析等)、医療カンファレンス等の資料準備などさまざまな業務支援を行っています。そのため、先生方とのコミュニケーションが不可欠で、時にはお酒やお弁当の話で盛り上がることもあります。



みすみ病院の できごと

SAISEIKAI MISUMI HOSPITAL

上天草CKD連携パス
運営会主催の講演会が
開催されました
※CKD=慢性腎臓病

1月17日(火)、第5回上天草CKD連携パス運営会学術講演会が熊本県上天草市内にて開催され、医師、看護師、コメディカル、市役所職員の方々など多数参加がありました。佐賀大学医学部内科学講座主任教授野出先生の「心・腎保護を考慮した高血圧治療」、上天草市役所健康づくり推進課の白川様の「上天草市のCKD重症化予防対策現状報告」をご講演いただき、会場からは多くの質問や意見が出されました。上天草地区CKD連携パス作成の契機となったのは、当院の医療圏にある上天草市の医院の先生方からCKD患者の腎機能低下進行を何とか抑制したいとの熱意ある提案でした。2009年、開業医の先生方と共同で作成し、連携パスを介して地域のCKD診療を専門医とかかりつけ医と協力して行っています。また市のCKD対策や熊本病院の協力も有り、CKDの予防、早期発見・早期治療も可能な地域医療圏となってきています。

腎臓内科／町田 健治

3月4日(土)
清掃活動を行いました

地域住民の方々へ感謝の意を込めて、11年前から毎年開院記念日(3月1日)の最初の週末に行っています。

今年も3月12日(日)に開催される天草パールラインマラソン大会コースと世界遺産に登録された三角西港の2箇所に分かれて実施しました。

今回は家族連れスタッフが多く、総勢100名の参加となりました。毎年参加してくれる子どもたちの成長が見られるのも楽しみのひとつです。私が担当したのは上天草市で、天草パールラインマラソン大会の参加ランナーが気持ちよく走れるよう、私たちが「拾うあなたが主役です」を合言葉に清掃を行い、清々しい気持ちになることができました。

職場改善委員会／吉川 卓宏



新入職員
オリエンテーション

4月3日～4日にかけて、新入職員のオリエンテーションを行いました。初日は木下事務長の「済生会と当院の診療方針」に始まり、就業規則や地域連携などについて講義がありました。2日目はAEDの取扱い、感染対策、個人情報保護など実技を取り入れた内容となっており、医療人として必要な知識を、実践を交えて身につけてもらいました。



職種が違えば、オリエンテーション後はなかなか顔を合わせる機会がありません。わずかな時間ですが、同期の仲間として過ごしてもらい、これからお互いに切磋琢磨して頂ければ嬉しいです。

企画総務室／船橋 麻紀

